

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	邦楽
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしきがいしゃ さんろくや		
	制作団体名	株式会社 三六屋		
	代表者職・氏名	代表取締役 阿部洋介		団体ウェブサイトURL
				https://www.sanrokuya.com/
	制作団体所在地	〒 123-0841	最寄駅(バス停)	西新井大師西 駅
		東京都足立区西新井6-46-6		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	きたとみなみのみんようほうがくらいぶ		
	公演団体名	北と南の民謡邦楽らいぶ		
	代表者職・氏名	阿部金三郎		団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒 123-0841	最寄駅(バス停)	西新井大師西 駅
		東京都足立区西新井6-46-6		
	制作団体 設立年月	2010年9月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表取締役社長 阿部洋介 役員 阿部人斎 役員 阿部園美	役員:3名 従業員:4名 出演者:15名	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	阿部洋介
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	阿部園美
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		abeva@sanrokuya.co.jp		0356910160

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p>株式会社 三六屋</p> <p>株式会社三六屋は日本の伝統芸能、郷土芸能の発展と普及に努めるべく組織されました。国内外問わずその可能性を広げ様々なアプローチでその芸術や情報を発信しています。公演活動のサポートはもちろん音楽の指導、教育にも力を入れており様々なジャンルの芸能を幅広い層に広めるべくレッスン活動も大きな規模で展開。代表をはじめ社員構成員も若き人材を有しその力と才能を結集し、従来にはない発想で現代における伝統芸能のあり方進め方を演奏者と共に意見を交えながら作り上げていくスタイルは三六屋の最大の特徴です。また独自で立ち上げたプロジェクト「HINOARHYTHM」はパンフレット、ホームページはもちろん公演全体を全て英語で行うという新感覚の公演、ワークショップを行い言葉や国を問わず楽しめる伝統芸能のグローバル化を計るプロジェクトとして精力的に公演活動を実施しています。また革新的な取り組みと合わせて、先人が培った芸能は崩さず壊さず伝統を守り継いでいき、進取と温故知新の精神で伝統芸能の新しい「時代」をつくるプロフェッショナルチームです。</p> <p>2014年 日・カリブ交流年事業公演達成 2016年18年 「HINOMARHYTHM」開催 2018年 津軽三味線・民謡団体「三乃会」と統合 2019年 高知よさこい楽曲提供 2023年 世界水泳2023福岡大会で、会場内の選手入場曲等に演奏で参加</p> <p>他CD出版多数</p>
学校等における 公演実績	<p>平成23年度： 20公演 平成24年度： 20公演 平成25年度： 25公演 平成26年度： 78公演（内文化芸術による子供の育成事業は16公演） 平成27年1月20日 島根県立出雲養護学校で派遣事業を実施。 平成27年度： 81公演（内文化芸術による子供の育成事業は17公演） 平成27年11月27日 宮崎県都城市立石山小学校で派遣事業を実施。 平成28年度： 65公演 平成29年度： 64公演（内文化芸術による子供の育成事業は20公演） 平成30年度： 68公演 令和元年度： 72公演 令和2年度： 82公演が予定されていたが、コロナ禍により12公演実施。文化芸術による子供育成総合事業（当初公演）： 30公演 令和3年度： 87公演（内文化芸術による子供の育成総合事業は29公演） 令和4年度： 82公演（内文化芸術による子供の育成推進事業は9公演） 令和5年度： 85公演（内舞台芸術等総合支援事業は9公演） 令和6年度： 70公演（内舞台芸術等総合支援事業は8公演） 令和7年度： 78公演（内舞台芸術等総合支援事業は6公演）</p>

特別支援学校等における公演実績	平成26年度 文化芸術による子どもの育成事業 派遣事業 島根県立出雲養護学校
	平成27年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業 宮崎県立清武せいりゅう支援学校 事前に学校の先生と連絡を密に取り合うことはもちろん、せいりゅう支援学校さんでは過去に経験のない生徒さん参加演目（白狐の嫁入りなど）のリハーサルを行いました。車椅子などに寝たきりの生徒さんが多くいらしたので、体験で生徒さんが前に出る際の動線を事前に確認しました。また楽器体験の際も撥で怪我をしないよう、弊社スタッフのみでなく担当の先生の補助を頂きながら、三味線や太鼓の音色を味わって頂きました。
	平成29年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業 滋賀県鳥居本養護学校 小学部から高学部まで年齢層が幅広い参加でした。特に小学部の児童さんが大きな音に驚く可能性があることを、ワークショップ時、担当の先生に確認をしていました。本公演では、通常より早めに舞台設営を開始し、あべやメンバーもいつもより早めに会場入り。担当の先生他、小学部の先生方にも体育館でのサウンドチェックに立ち会ってもらい、トラブルが生じないレベル調整を、音響エンジニアと舞台監督で綿密に行いました。結果、演出効果を損なうことなく、公演後は、児童・生徒さんまた先生方も、存分に楽しめたという評価を頂戴しました。

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり
----	----

【公演団体名 北と南の民謡邦楽らいぶ 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	北と南の民謡邦楽らいぶ			
企画のねらい	いまや現代曲にも使われるなど“カッコいい和楽器”の代表格である津軽三味線。しかし広く国内を見渡してみると、津軽三味線だけでなく、日本では多様な弦楽器や、それらと共に多種多様な音楽が育まれてきました。 北の代表選手が津軽三味線ならば、南には沖縄の音楽に欠かせない弦楽器・三線があります。 同じ日本の弦楽器、普段は混ざり合うことの少ない両者が出会ったとき、我々はこれまで見えてこなかった奥深い“音楽の景色”を目の当たりにし、小さな島国と思っていた日本に、これほどまでに多様な音楽があったことに驚かされることでしょう。			
演目概要・演目選択理由	<p>(別添①をあわせてご参照ください)</p> <p>”津軽三味線 と 三線”を軸に、北と南の民謡音楽、ひいては日本の音楽が持つ奥深い世界へご案内。 はじめて観る子ども達でも、目で見て親しめる・楽しめる”楽器”をメインツールに用い、また比較することで、普段何気なく聴いていた津軽三味線の激しくもカッコいい音色や、三線から奏でられる穏やかで誰しも踊りだしたくなるような世界観は、一体どこからきているのかを一緒に紐解きます。</p> <p>○同じ”弦”楽器、だけどこんなにも違うのはなぜ？ …ワークショップでは、まず楽器として津軽三味線・三線に触れて頂きます。 日本を代表する弦楽器の津軽三味線と三線、それぞれの音色は何となく知っていても、改めて比べてみると見た目をはじめ、様々な違いがあることを体感。</p> <p>○聴こえ方の違いは”音階”にあり！？(和音階と琉球音階) …津軽三味線・三線それぞれから奏でられる音色からは、 「寒さに耐える力強さを感じる」「きれいな海を眺めているような気分になる」など、同じ弦楽器でも違う聴こえ方がしますが、それは楽器と音楽が持つ”音階”が異なるためであることを紹介。 難しいように思われる”音階”ですが、簡単なバーチャルピアノアプリ映像を使用したドレミの音を、視覚・聴覚的に説明することでそれまでとは異なる音楽の楽しみ方にも触れられます。</p> <p>○唄おう！囃そう！踊っちゃおう！ …本公演では、「北と南の民謡邦楽らいぶ」と題し、 北は津軽じょんがら節、南はていんさぐぬ花や唐船ドイなどそれぞれを代表する曲を中心に、 楽器の違い・音色の違いをライブ形式でお楽しみ頂きます。 また、和音階と琉球音階の発展的紹介として、誰しも聴き馴染みのある童謡(かえるのうた等)を、それぞれ和音階・琉球音階で弾いてみることで、ワークショップで触れた”音階”のしぐみを更に発展的に学びます。 また、民謡など限られた音楽だけではなく、日常的に耳にする機会の多いポップスにも琉球音階がふんだんに使われていることを、「涙そうそう」の演奏を通じて紹介します。</p> <p>また、ワークショップでは民謡に不可欠な”囃子”を、また本公演では特別に踊り(カチャーシー)を体験し、 体験民謡邦楽らいぶの集大成として本公演最後の牛深ハイヤ節、唐船ドイで児童・生徒全員に体験参加していただくことで、からだ全体を使って音楽を表現することの楽しさを共有します。</p>			

児童・生徒の参加 または体験の形態	【ワークショップ】 民謡がうまれるとき、まずはじめに唄があり、そこに楽器が加わり、周りがにぎやかに囃し立て…と民謡がうまれる様を”民謡ステップ1・2・3！”と題し、その瞬間を追体験するように、唄・楽器・囃子（かけ声／指笛）の3ステップにわけて体験していただきます。 ステップ① 唄 ステップ② 楽器 ★ ステップ③ 囃子（かけ声／指笛） ⇒★囃子（かけ声／指笛）は、本公演の北／南 の曲演奏中に自由にトライ！						
	【本公演】 ①特別伝授！カチャーシーの踊り方 老若男女をとわず、沖縄の人々の誇りともいえるべき カチャーシー。 一見難しそうですが、実はとても簡単です。沖縄音楽に触れたからには、踊りもマスターしてしまいましょう。 音楽にあわせて踊る楽しさをみんなで体験！ ②囃してフィナーレ 同じ弦楽器を通して北と南の民謡音楽に触れたら、最後は楽しくにぎやかに締めくくりましょう。 民謡に欠かせない囃子（かけ声／指笛）は児童・生徒さん全員でお願いします！ （牛深ハイヤ節／唐船ドリー）						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安		700人 程度まで		
			鑑賞人数目安		700人 程度まで		
本公演 演出 原作/作曲 脚本 演出/振付	別添③をあわせてご参照ください 一、津軽三味線パート ①「青くとも紅く」（あべやオリジナル）…昭和初期頃に流行した奏法を用いた、あべやによるオリジナルアレンジ。 ②「嵐」（あべやオリジナル）…津軽の厳しい気候を、新しい和の音で表現したまさしく“津軽三味線らしい”ハイテンポな曲。 ③津軽三味線 曲弾き対決…津軽三味線全国大会 優勝経験者の兄弟が繰り広げる超絶技巧の数々。 二、三線パート ④かぎやで風…沖縄の祝宴の始まりに必ず演奏される曲、明るい未来の到来を感じさせる歌詞が、はじまりにふさわしい一曲。 ⑤ていんさぐぬ花…沖縄では学校の授業で習う定番曲で、“ハウセンカの花”の意味。親の厳しくも優しい教えを表している。 ⑥谷茶前（たんちゃーめー）…沖縄と海での情景を思い起こさせる一曲。軽快でユーモラスな踊りが特徴。 ⑦ポップスと琉球音階 ～「涙そうそう」～…沖縄の情景を思い起こさせる有名なポップスの曲の多くには、やはり琉球音階が使われています。最も有名と言っても過言ではない「涙そうそう」から、ポップスと琉球音階について探ってみましょう。 三、コラボらいぶ 一津軽三味線×三線一 ⑧ 牛深ハイヤ節 ～北と南のスペシャルコラボver.～ …同じ弦楽器である津軽三味線と三線、両者は“民謡”の伴奏楽器として発展してきました。民謡に欠かせない“囃子”を体験しながら、北と南のスペシャルコラボバージョンでお楽しみください。 ⑨ 津軽じょんがら節…気候風土やその土地の生活に根差して発展した民謡の世界、日本にあまた存在する民謡の奥深さに、改めて思いをはせてみましょう。 ⑩ 唐船ドリー ～北と南のコラボフィナーレ～…ひとたび聞けば踊りだしたくなる！津軽三味線の力強い音色も加わって、楽しくカチャーシーを踊りながら、締めくくりましょう。						
	<table><tr><td>公演時間</td><td>80</td><td>分</td></tr></table>					公演時間	80
公演時間	80	分					
出演者	2名+2名 ◆阿部金三郎（兄）／平成17年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 ◆阿部銀三郎（弟）／平成22年度 全国津軽三味線コンクール 優勝 ◆美音 ／琉球古典音楽野村流保存会 師範（三線） ◇前田博美 ／琉球古典音楽野村流保存会 師範（歌三線） 沖縄タイムス伝統芸能選考会 三線・グランプリ 受賞／胡弓・グランプリ 受賞／舞踊・最高賞 受賞 ◇汐花 ／ゆいゆいシスターズ ※◇は、このうちどちらかが出演 □						
演出の芸術上の中核となる者（メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等）の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	阿部金三郎・銀三郎 …全国津軽三味線コンクール（若手のチャンピオンを決める大会）で、阿部金三郎・銀三郎兄弟は別年度でそれぞれ優勝の称号を手に入れている。なお、兄弟で優勝の称号を手にしたのは、このあべや兄弟だけである。 津軽三味線の名手・阿部秀三郎を父に持ち、幼少の頃より津軽三味線の英才教育を受け育つ。 いまや津軽三味線の世界のトップランナーとなり、世界水泳2023福岡大会では会場内の選手入場曲等に演奏で参加するなど多方面で活躍している。 美音 …野村流古典音楽保存会 三線師範 沖縄県立芸術大学 音楽学部 琉球芸能専攻 卒業後、カナダとオーストラリアへ長期滞在時に三線教室を開講。2019 年 シドニーオペラハウスにて「令和日本伝統芸術祭」出演。その他、多数公演に参加。 2023 年 第 15 回沖縄国際映画祭「島に還る」出演。2023 年 アニメ「呪術廻戦 懐玉・玉折」オリジナル・サウンドトラック 楽曲参加。現在、多様な音楽経験を活かし、歌三線・ソロ歌手としてマルチに活動中。						
本公演 従事予定者数 （1公演あたり） ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者：	4	名	運搬	積載量：	1	t
	スタッフ：	3	名		車 長：	5.3	m
	合 計：	7	名		台 数：	1	台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール の)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	8時45分	9時00分～12時30分		13時30分～14時50分	なし	14時50分～17時00分	17時00分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月
	14日		6日		6日		21日
	10月		11月		12月		1月
	3日		5日		15日		14日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		84日
本公演・ワークショップの内容	会場状況に制限のある場合でも等しく、児童・生徒さんの間近で上質な邦楽エンターテインメントを可能にします						
	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)</div> <div>※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し</div>						
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当あり		該当コンテンツ名		「涙そうそう」
	該当事項がある場合	権利者名	作詞：森山良子 作曲：BEGIN		許諾確認状況		採択後手続き予定

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

あり

【公演団体名

北と南の民謡邦楽らいぶ

】

ワークショップの
ねらい

”楽器を知り、音と出会う”

津軽三味線と三線という、日本の北と南の代表的な弦楽器を用いて、まずは楽器に親しみます。また、これら二つの楽器が、同じ弦楽器でありながら独自の進化を遂げた背景について、北と南の”音階”の違いに着目することで、音や曲を聴いたときに我々が「沖縄の音楽っぽい」「和風だな」と感じる理由を深堀り。そうすることで、今まで何気なく聴いていた音楽への新たなまなざしにつながります。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

700人 程度まで

ワーク
ショ
ップ
の
内
容ワークショップ
実施形態及び内容

別添②をあわせてご参照ください

北の津軽三味線奏者と、南の沖縄三線および民謡歌手による対談実演形式で、同じ弦楽器という共通項を用いて、まずはそれぞれの楽器と音に親しみましょう。

○同じ”弦”楽器、だけどこんなにも違うのはなぜ？

- ・まずは北と南、それぞれ代表的な曲でご挨拶(北:津軽じょんがら節/南:安里屋ユンタ)
- ・楽器紹介…素材や大きさ、音色を比べてみましょう。

大きさは津軽三味線の方が大きいですが、歴史は三線の方が古く、三線がいまの沖縄から九州に上陸し、”北前船”という貿易船の航行と共に、楽器として独自の進化を遂げ、北にたどり着いた時に”津軽三味線”として定着したのです。

○音階って？

- ・音や曲を聴いたときに我々が感じるイメージは、楽器だけが生み出しているのではなく、そもそもの音の成り立ち”音階”に違いがあるためです。
- ・北は和音階(民謡音階)、対して南の琉球音階には、いわゆるドレミの中のレ・ラがありません。試しにレ・ラを除いてピアノの鍵盤を弾くと…不思議!”沖縄っぽい”メロディーに聞こえます！ワークショップでは、バーチャルピアノアプリを映像として使用し、分かりやすくピアノの鍵盤で、音階の違いに触れます。また津軽三味線・三線の譜面の違いや、同じ曲の実演を通して、初めての”音階”体験をしましょう。

○【体験】民謡ステップ1・2・3！

北にも南にも、同じ弦楽器を通して様々な音楽があることを知りましたが、それらを何というか知っていますか？人々はそれを「民謡」と呼んで、古くから親しんできました。

民謡は、現代のように作詞・作曲して一つの曲としてうまれるのではなく、土地に根付いた風土やそこでの人々の営みから自然と唄い、踊り継がれてきたものです。民謡がうまれるとき、はじまりはまず唄があり、そこに楽器が加わり、その様をみていた人々がにぎやかに囃し立て踊りだし…、そして土地から土地へと伝わっていったことでしょう。

この体験コーナーでは、まさに民謡がうまれる瞬間を追体験するように、民謡に欠かすことのない唄・楽器・囃子(かけ声/指笛)を順番に体験します。

①唄 ”みんなで唄おう”

②楽器(三味線・三線)体験

③囃子(かけ声/指笛)

⇒囃子は、本公演フィナーレで児童・生徒さん方に参加トライしていただくための、お稽古も兼ねています。

その他ワークショップに
関する特記事項等

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 北と南の民謡邦楽らいぶ 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		40 A以上	
舞台設置面積	間口	5 m		奥行	3.5 m		
	高さ	3 m					
舞台設置場所	フロア対応	条件が合えば可		学校のステージでの対応		条件なし	
搬入間口の広さ	幅	2 m		高さ	2 m		
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否			有無のみ確認したい	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			条件なし	
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			30 m以内	
搬入車両の種類	ハイエース		台数	1 台			
搬入車両の大きさ	車幅	1.88 m		車長	5.38 m		
備考							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否		
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面

体育館
舞台スペースの
確保が必要

設置舞台

3.5 m

スペースの
確保が必要

5 m

2.5 m

体育館
フロア

鑑賞位置

間口

フロア使用時

後方

トラック

別添

なし

【公演団体名 北と南の民謡邦楽らいぶ】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

”日本には多様な音楽がある”、という視点を子どもたちが持つことが最大の実現目標です。
また、音楽には音階に代表されるような”理論”が隠されていること、しかしそれらはあくまでも思考や感じ方を狭めてしまうものではなく、むしろそうした理論やルールが、人間が本能的に感じる心地よさや楽しさ、時に感動につながり、それが音楽がもたらす無限の楽しさであることを、本事業・プログラムを通して感じてもらえたらと考えています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

日本の音楽が持つ多様性を知ってもらおうとすると、時に壮大になりがちですが、本プログラムにおいては、
・北と南
・弦楽器
という軸を設定。
このような比較設定は、普段あまりコラボレーションする機会の少ない両者をあえて出会わせ、比較しながらそれぞれの楽器や音楽、その成り立ちに触れることで、プロの奏者でも気付かなかったようなフラットで新たな相乗効果がうまれることを狙っています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

本プログラムにおいては、公演の事前や、WS／本公演の間に、学校様側に準備・調整して頂く事項は特にありません。

今までの巡回公演事業での経験で、学校様も年々、本事業をはじめとした授業科目以外の活動全般への注力がますます難しいのだろうと感じております。
そのような中で、学校様側の調整負担をなるべく排除しつつ、児童・生徒がはじめて触れる芸術鑑賞のまたとない機会となるよう唯一無二の質を保ったプログラムを心がけております。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

対象年齢・学年や、習熟度にかかわらず、小学校低学年から楽しみ、中学生であっても新しい発見につながるプログラムになっております。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

民謡や、津軽三味線・三線といった、本プログラムが終わってしまえば、もう触れることのない音楽や楽器に終始するのではなく、普段子どもたちが何気なく聴いている音楽や、聴き馴染みのある曲にもスポットをあてていますので、実施後の子ども達の音楽へのまなざしには何らかへの変化がもたらされることと思います。

また出演者は、NHK Eテレや民放の歌うま選手権のような番組にも出演経験のある演者がいることで、出演者や、ひいては民謡全般と再会する機会は、これらへの継続的な興味にもつながることでしょう。

別添

なし

【公演団体名

北と南の民謡邦楽らいぶ

】

①離島・へき地等における公演実績

令和3年度:6公演(離島…沖縄県／那覇市・浦添市・嘉手納町・島尻郡・中頭郡
鹿児島県／屋久町)
令和4年度:6公演(離島…沖縄県／名護市 2公演・豊見城市・宜野座市・南風原町・国
後郡)
令和5年度:5公演(離島…沖縄県／那覇市 2公演・糸満市・具志川市・中頭郡)
令和6年度:4公演(離島…沖縄県／糸満市・うるま市・中頭郡 2公演)
令和7年度:2公演(離島…沖縄県／那覇市・うるま市・島尻郡)
他、各都道府県での町村学校公演 多数

②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】

津軽三味線や三線などの出演者側楽器、また舞台設営内容としても持ち運びやすい身軽さにより、地理・交通面で制約がある学校での公演に対応可能です。

【質を保つための工夫】

どのような設備状況の学校様でも実現可能にするため、持ち運び可能なスクリーンを使用します。
ワークショップでは楽器の違いや、バーチャルピアノアプリ映像などを投影するための“レクチャー”用として、一転して本公演では津軽や沖縄の情景を映し出すなど、“舞台演出”用として使用できますので、シンプルな舞台設営内容でありながら多様な用途が可能になります。

③特別エリア区分応募における、費用面の工夫

音響・照明・舞台 各1名ずつの人員が揃いつつ、機動力高く、また最低限の演出・およびプランニングにより、コスト削減にも対応することで、音楽ものでも演出の入ったライブ感をお楽しみ頂けます。

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

項目内容

別添①

北の厳しい、
風雪に向かう魂の響き

北
三味線
さんしん

あやや

南のゆったり、
思わずからだ動き出す音色

南
三味線
さんしん

日本には、
北に津軽三味線、
南に三線といったように、
多様な楽器と音楽が育まれてきました。
普段は混ざり合うことの少ない
両者が出会ったとき、
我々はこれまで見えてこなかった
奥深い“音楽の景色”を目の当たりにし、
小さな島国と思っていた日本に、
これほどまでに多様な音楽があったことに
驚かされることでしょう。

別添②

北へ南へ

ひとつとび!

北と南の民謡邦楽ワークショップ。

～ 津軽三味線／三線 きいて・さわって・たのしく比較 ～



ご挨拶

まずは北の津軽と南の沖縄、
音色だけでもその違いは一目瞭然です。

津軽じょんがら節

安里屋ユンタ



楽器紹介

同じ弦楽器ですが、両者には様々な違いがあります。
その違いが、それぞれが持つ独特の音色や奏法につながっています。

大 犬

大きさ・素材

蛇 小

はげしい

力強い

鳴らしてみると...?

穏やか

ゆったり

項目内容

“音階” ～同じ曲でもこんなに違う!～

耳馴染みのあるカノン(パッヘルベル)を、
津軽三味線／三線でそれぞれ演奏。
同じ曲なのに、少し違って聴こえるのはどうしてでしょう?

和音階

琉球音階

同じ日本の弦楽器だけど、
譜面にも違いが
あるんですね!

楽譜に書いてある
合・乙・老などの漢字は、
三線の押さえるところを
あらわしています。

サー・サヨイヨイ
ヨイサアヨイサア

体験 民謡ステップ 1・2・3!

～民謡に欠かせない楽器・唄・囃子を順番に体験～

- ① 楽器:三味線／三線をひいてみよう
- ② 唄 :みんなで唄おう!
- ③ 囃子:かけ声／指笛をやってみよう
～本公演でもやるよ!～



展示コーナー

WSと本公演の間の空き時間に、さわって体験できる展示もご用意

パチがすごく
とがってる!何で犬の皮
なんだろう...三味線と比べると
小さいね三線のパチは
指にひっかけるんだ!

別添③

民謡の世界へようこそ！

北と南の民謡邦楽らいぶ 本公演

一、津軽三味線



①「青くとも紅く」(あべやオリジナル)

昭和初期頃に流行した奏法を用いた、
あべやによるオリジナルアレンジで津軽三味線の世界へ誘います

②「嵐」(あべやオリジナル)

津軽の厳しい気候を、新しい和の音で表現した
まさしく“津軽三味線”らしいハイテンポな曲。

③ 津軽三味線 曲弾き対決

津軽三味線全国大会 優勝経験者の兄弟による超絶技巧の数々。
兄弟ならではの、バトル感あふれる演出もお楽しみください。

二、三線



④「かぎやで風」

沖縄の祝宴などのはじまりに必ず演奏される曲、
明るい未来の到来を感じさせる歌詞が、はじまりにふさわしい一曲。

⑤「ていんさぐぬ花」

沖縄では学校の授業で習う定番曲で、“ハウセンカの花”の意味。
親の厳しくも優しい教えをあらわしている。

⑥ 谷茶前(たんちゃーめー)

沖縄といえば“海”、その海での情景を思い起こさせる一曲
軽快でユーモラスな踊りが特徴。

⑦ ポップスと琉球音階 ～「涙そうそう」～

ドレミのレ・ラがない“琉球音階”、普段聞きなれたポップスにも
この琉球音階を使った曲がたくさんあります。

三、コラボらいぶ — 津軽三味線 × 三線 —

体験

⑧「牛深ハイヤ節」～北と南のスペシャルコラボver.～

同じ弦楽器である津軽三味線と三線、両者は“民謡”の伴奏楽器として
発展してきました。民謡に欠かせない“囃し”を体験しながら、北と南の
スペシャルコラボバージョンでお楽しみください。



⑨「津軽じょんがら節」

気候風土やその土地の生活に根差して発展した民謡の世界、
日本にあまた存在する民謡の奥深さに、改めて思いをはせてみましょう。

体験

⑩「唐船ドーイ」～北と南のコラボフィナーレ～

ひとたび聞けば踊りだしたくなる！ 津軽三味線の力強い音色も加わって、
楽しくカチャーシーを踊りながら、締めくくります。



カチャーシーの踊り方

